



前に踏み出す力を

～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組もう～

校長 浅見 正史

6月15日の体育祭では、暑い中、多くの地域や保護者の方々からの熱い声援で生徒たちの背中をおしていただき、思い出に残る体育祭を開催することができましたことに改めて感謝申し上げます。また、3年生は、30日(日)から京都・奈良への修学旅行に行きます。行事の多い中、事前準備をしっかりとしてきましたので、充実した三日間にしたいと思います。



さて、生徒の皆さん、期末テストも終わり、夏休みモードに入っているかと思いますが、この夏に、主体的に何を学ぶかで2学期以降の学校生活が大きく変わってくると思います。文部科学省は、「主体的な学び」を「学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる」と定義しています。また、経済産業省の求める「社会人基礎力」では、主体性は「物事に進んで取り組む力」と定義し、「前に踏み出す力」つまり、指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動ができるようになることを「人生100年時代の社会人基礎力」の一つとして求めています。

皆さんは、主体性に似た言葉に自主性がありますが、自主性と主体性の違いを知っていますか。自主性は、決められた約束事を率先して実行するなど、すでに決められたことに対して実行するものです。これに対し、決められた約束ではなく、自ら目的や課題を設定し、自らの判断と責任のもとで行動することが主体性だと考えます。主体性を身に付けるためには、豊かな知識と確かな情報を身に付けることが必要です。学ぶことに興味や関心を持ち、自らチャレンジすることが主体性をもって行動する基本にあります。

そこで、夏休みの宿題は、自主的な活動になります。主体的な学びは、例えば、趣味を生かした初めての体験や、部活動では、今までできなかったプレーやスキルを個人的に調べ(調査・研究)、練習し克服する。また、地域の行事にスタッフとして参加するなど、皆さんの前にはたくさんの「主体的な学び」があります。あとは「やるか」、「やらないか」です。自分が主体的に体験したことを自分の言葉で表現できるよう、しっかりと目標と計画を立て、この夏にしかできない体験に一步踏み出し、やり抜いてください。

子どもたちの主体的な学びのために、地域、保護者の皆様、今年の暑い夏も、温かい見守りをお願いいたします。